

前橋・高崎連携事業				
	事業名	内容		
市民サービスの向上	福祉	管外保育	居住地外の保育のことで、高崎市の保育所（園）も使えます。5月現在、利用児童は両市で計50人です。	
		福祉タクシー利用券の利便性向上	在宅の重度障害者が社会生活上の必要で、高崎市のハイヤー協議会加盟タクシーを利用した場合にも、基本料金部分の助成を受けられます。	
		ファミリー・サポート・センターの利便性の向上	高崎市のファミリー・サポート・センターにも、育児援助を必要とする人と援助できる人は会員登録し利用できるようになります。	
	教育文化		図書館のネットワーク化	両市民が自由に両市の図書館を利用できるようになっており、蔵書検索もできます。
			文化イベントの共同開催	文化イベントの共同開催を連携して進めており、両市民からなる前橋・高崎文化連携事業委員会を設置しています。
			高崎経済大学・前橋工科大学の連携促進	両大学間で、学部間・大学院間の単位互換、共通の大学案内パンフレット作成、合同入試説明会などの連携を行っています。
			両市所蔵の美術品の相互貸し出し	両市で所蔵している、市にゆかりのある作家の美術品を相手市に貸し出ししています。
	産業		出前講座の対象拡大	出前講座の対象を両市民としているので、高崎市の出前講座も利用できます。
			企業研修等の対象拡大	両市で開催している企業向け研修会などを、両市民が自由に受講でき、高崎市の研修会なども受講できます。
	情報		物産展の相互参加	両市企業者の交流や育成を目的として「まえばし物産まつり」と「高崎観音だるまマーチ」へ両市物産業者が相互に出店しています。
		広報、文化情報誌への相互掲載	広報毎月1日号で高崎市のイベントなどを掲載、また、市民文化会館情報誌には高崎市の主催事業を掲載しています。	
		ハローページの一体化	両市民の利便性の向上を図るため、NTT東日本に電話帳の一体化を要望しています。	
効果的・効率的な基盤整備		都市計画道路	両市を結ぶ都市計画道路高前幹線・江田天川大島線、新前橋駅川曲線・南八幡京ヶ島線の整備を行っています。	
		地域IT化の共同推進	北関東IT推進協議会を中心に両市は連携し、IT推進基盤整備や地域振興のための取り組みを行っています。	
		バスの利便性向上	両市で協調して上信電鉄バス「前橋駅・中央前橋駅～高崎駅線」の維持を図り、また、両市で敬老バスカードに同額の利用額助成を行っています。	
		JR両毛線の利便性向上	JR東日本に対して運行本数の増加、新駅の設置、駅周辺の整備などについて、両市で連携して要請を行っています。	
		上水道の相互利用促進	災害時や渇水時などにおける相互応援配水、両市の保有する配水管工事材料および給水車などの相互利用などについて連携を行っています。	
		下水道の相互利用促進	入り組んだ両市境の区域において効率的な下水道整備を行っています。	
		雨水対策事業の推進	両市の境付近における浸水被害区域の雨水対策を連携して実施しています。	
市民交流の促進		利根川の緑のネットワーク計画づくり	両市境界に位置し、両市が協力し一体的な公園として整備を進めてきた大利根緑地が、平成15年3月にオープンしました。	
		両市のまつりなどでの市民交流	高崎まつり、前橋まつりなどに市民の相互参加を呼びかけ、両市民の交流を行っています。	
		スポーツ交流の促進	平成11年度以降「家庭婦人バレーボール大会」を通じて両市民の交流を行っています。	
		市民団体活動における交流促進	両市域のNPO法人およびボランティア団体の連携を促進するとともに、交流会などの事業開催の情報提供を行っています。	
連携部門の強化		未来に向けた「夢事業」	これまでの連携事業の成果を踏まえ、「両市のイメージアップ」と「市民交流の促進」を目的に、夢事業を両市民とともに実施を検討しています。	
		人事交流	両市職員の相互の派遣を実施しています。	
		市職員に対する連携意義の浸透	連携意義の浸透を図るため、両市職員合同での研修も行っていきます。	
	ごみ処理緊急時相互支援協定	平成13年4月から、燃焼炉での爆発事故や自然災害などの緊急時における、相互の清掃工場での支援体制を確保しています。		